

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	体育施設備品整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	06	04	01	54
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課				
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	寺門 宏晋				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	体育施設の利用者	意図	施設備品を適正に維持管理するとともに、体育施設利用者のスポーツの熱意の向上と安全性の確保を図る。
事業内容	施設利用者が安心・安全に利用できるよう、新川耕地スポーツフィールド移転整備により流山スポーツフィールドの供用開始にあわせて備品等を購入する。			
事業開始から現在までの状況変化	新川耕地スポーツフィールド移転整備により、平成30年3月に流山スポーツフィールドの名称で工事が完了し、4月からの供用開始にあわせ少年サッカーゴール及び少年サッカーゴールネット等を購入した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	市内最大の屋外施設の供用開始にあわせ、サッカーゴールのほか様々なスポーツの共通備品を購入した。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,506,000	1,373,000	4,593,788			
事業費(b)(円)				3,251,388			
うち一般財源				3,251,388			
職員給与費(c)(円)		1,506,000	1,373,000	1,342,400			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	スポーツ団体の利用ニーズ等を踏まえ、平成30年4月の供用開始にあわせて備品の購入を進める。	③取組の課題	利用者の意見を踏まえながら、今後、市民のスポーツ大会に必要な備品の購入に努める。
②今年度(H29)に実施した取組	各競技団体に共通するラインカー等の必要備品やサッカーゴール等を購入した。	④今後(H30以降)の改善計画	利用者のニーズの把握に努め、今後の備品購入の検討を図る。